

＜日商簿記 2 級商業簿記ミニテスト 16＞株主資本等変動計算書

<問題>株主資本変動計算書について（ ）に適切な金額を記入して完成させなさい。金額がマイナスになる場合は金額の前に△をつけること。

なお、会計期間は平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 1 年間である。

[資料]

1、平成 29 年 6 月 20 日定時株主総会を開催し、剰余金の配当および処分を次のように決定した。

(1) 株主の配当金について、その他資本剰余金、繰越利益剰余金を財源としてそれぞれ ¥700,000、¥1,800,000、合計 2,500,000 の配当を行う。

上記の配当に関連して、会社法が定める金額を準備金として積み立てる。

(2) 繰越利益剰余金を処分し、別途積立金 ¥170,000 を積み立てる。

2、平成 29 年 9 月 1 日、新株を発行して増資を行い、払込金 ¥1,800,000 は当座預金とした。なお、会社法が定める最低限度額を資本金とした。

3、平成 30 年 3 月 31 日、決算にあたり、次の処理を行った。

(1) その他有価証券（前期末の時価は ¥1,820,000、当期末の時価は ¥2,120,000）について時価評価を行い、評価差額を全部資産直入法により純資産として計上した。なお、その他有価証券はすべて株式であり、当期にその他有価証券の売買取引は行われていない。

(2) 当期純利益 ¥860,000 を計上した。

<仕訳解答>

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1、(1)	その他資本剰余金	756,000	未払配当金	2,500,000
	繰越利益剰余金	1,944,000	資本準備金	56,000
			利益準備金	144,000
(2)	繰越利益剰余金	170,000	別途積立金	170,000
2、	当座預金	1,800,000	資本金	900,000
			資本準備金	900,000
3、(1)	その他有価証券 評価差額金	120,000	その他有価証券	120,000
	その他有価証券	420,000	その他有価証券 評価差額金	420,000
(2)	損益	860,000	繰越利益剰余金	860,000

<解答>

株主資本等変動計算書
自平成29年4月1日至平成30年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 利 余 金		
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 利 余 金	資 本 利 余 金 合 計
当 期 首 残 高	16,000	3,000	500	3,500
当 期 変 動 額				
剰余金の配当		(56)	(△756)	(△700)
別途積立金の積立て				
新株の発行	(900)	(900)		(900)
当期純利益				
株主資本以外の項目 当期変動額 (純額)				
当期変動額合計	(900)	(956)	(△756)	(200)
当 期 末 残 高	16,900	3,956	244	4,200

(下段へ続く)

(上段より続く)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	利 益 利 余 金				株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 利 余 金 別 途 積 立 金	繰 越 利 益 利 余 金	利 益 利 余 金 合 計				
当 期 首 残 高	800	200	4,000	5,000	24,500	120	120	24,620
当 期 変 動 額								
剰余金の配当	(144)		(△1,944)	(△1,800)	(△2,500)			(△2,500)
別途積立金の積立て		(170)	(△170)	—	—			—
新株の発行					(1,800)			(1,800)
当期純利益			(860)	(860)	(860)			(860)
株主資本以外の項目 当期変動額 (純額)						(300)	(300)	(300)
当期変動額合計	(144)	(170)	(△1,254)	(△940)	(160)	(300)	(300)	(460)
当 期 末 残 高	(944)	(370)	(2,746)	(4,060)	(25,160)	(420)	(420)	(25,580)